

世界の問題 → 地域の問題



富谷高等学校とは

「普通科3コース制」から、普通科一括募集、
2年生からの「3類型(人文・国際・理数)選択制」へと変わりました。

富谷高校は、進取の精神に富み、国際的な視野に立って広く社会の発展と文化の創造に貢献する、個性豊かな人間を育成することを目標としています。平成6年の開校以来、社会や時代の変化に対応しながら、様々な取り組みに挑戦してきました。平成26年にユネスコスクールに加盟承認されたことで、学校全体としてユネスコの理念に沿った教育を目指すことになりました。

1年生ではコースの枠を外して、すべての生徒が世界と地域の問題を包括的に捉えられるような教育活動を行い、その上で、2年

生以降はそれぞれの進路や、国連で合意されたSDGs(持続可能な開発目標)の17の課題を参考に、3つの類型からひとつを選んで学ぶ「類型制」に移行しました。

さわやかで明るい校風を伝統として維持しつつ、グローバルイシューをもとにした課題研究や探究的な活動の幅を広げ、世界(グローバル)を視野に入れつつ、発展著しい富谷市で唯一の高校として、地域(ローカル)とも連携する「グローカル」な人材の育成に励みます。

ますます地域と連携し世界とつながる富谷高校にご期待ください。



ユネスコスクール加盟校として

平成26年からユネスコスクールに加盟しています。1学年ではユネスコの理想を実現させるために必要なグローバルシチズンシップを身につけるとともに世界の諸問題について考えます。2学年から各類型に分かれ人文類型では「平和・人権教育」、国際類型では「異文化理解」、理数類型では「環境教育」について様々な行事をととして取り組みます。修学旅行、ワークショップ、講演会など様々な行事を持続可能な開発のための教育(ESD)の観点から見つめ、世界の問題から身近な地域の問題を考え、持続可能な社会の創り手を育成する目的で実施されます。